

令和5年度 教育・保育活動に対する学校評価

学校法人瀬戸谷学園 せとやこども園 園長 福與繁太郎
 学校法人瀬戸谷学園 せとやこども園 評価委員会委員長 石引 直子

1 教育目標

・誰とでも仲良く遊べる子 ・あきらめず行動できる子 ・優しく思いやりのある子 ・自分で考え工夫できる子

2 本年度の重点

＜元気な子＞

- ・友だちと仲良く遊ぶ
- ・好き嫌いをしないで食べる
- ・大きな声であいさつする
- ・戸外で身体を使って楽しく遊ぶ

＜自立する子＞

- ・基本的な生活習慣を身に付ける
- ・自分でできることは自分でする
- ・共通の目的に向かって遊び等を進める

＜考える子＞

- ・友だちとの関わりの中でルールを守る
- ・工夫して絵を描いたり制作したりする
- ・言葉で伝え合う

3 自己評価と学校関係者評価結果

評価点…A（十分に成果がある） B（成果がある） C（あまり成果がない） D（成果がない）

評価項目欄の①～⑩は、評価アンケートの項目数字

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評点	園としての反省と◎改善策	評点	評価委員の意見
教育活動	保育の計画性 ⑦⑩	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標「元気な子・自立する子・考える子」は大きな方向性を示すもので、達成度合の判断は簡単ではない。一方で、園目標に沿って活動を設定したり園児を見守ったりしていくことは、保護者も含めて園全体が同一歩調で進む上で大切であると考えます。 ・保護者には好評であるが、年齢等に適した行事となっているかを検討する必要がある。特に乳児にとっては、運動会の遊戯（ダンス）と遊戯会での遊戯ともに負担となっていないかを心配する職員が少なくない。他園では遊戯会に乳児が参加しない所も多く、種目・演目の内容を含めて見直す必要があると考えている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の様子を見学させていただき子ども達の発達段階に応じた内容を工夫されていると感じた。
	園生活の充実 ①	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活全般に、保護者は肯定的に受け止めている。 ・園児の笑顔あふれる園づくりを今後も進めたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりを拝見する限り、楽しそうな様子が伺える。
	保育の在り方・園児への対応 ④	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数が少人数であることが回答の背景にあると思われるが、保護者はほぼ肯定的な評価をしている。一方で職員は、一昨年に相次いだ県内外の園児虐待事件の報道等を受け、子どもの人権尊重に関してはより厳しく自他の評価をしている。園児個々を大切に保育を求め、職員研修を重ねたい。 ◎毎週木曜日の職員打合せで、「よりよい保育」をテーマとした研修を継続する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待や不適切な保育の防止について、定期的に園内研修をしていると聞き安心した。今後もしっかりと取り組んでいただきたい。
保護者との信頼関係	保護者への対応 ③	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員に気軽に話せる」と感じている保護者は多いが、職員は「どのように話せば保護者によりよく（正しく）受け止めてもらえるか」を常に意識している結果と思われる。 ・「誤解のないよう正しく伝える」ことは信頼を得る基本であり、職員が自身のコミュニケーション能力向上を常に心がけるとともに、研修も重ねる必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が笑顔だと親としては子どもを安心して預けられる。先生方の笑顔は、職員同士の人間関係が良好であることも大切だと思うので、そういった面での気配りもお願いしたい。
	広報、連絡、保護者との情報共有 ⑤	A	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた紙面や時間の中で、「園生活のどの場面を取り上げてどのように保護者に伝えるか」が重要となる。今後も、「子どもの今」を正しく丁寧に伝える努力を続けたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・お便りで様子が分かります。楽しい園生活が出来ているように感じる。 ・園だよりを拝見する限り、楽しそうな様子が伺える。
環境整備 保健安全	安全・安心な環境整備 ⑧	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園敷地内への出入り口は、正門や隣接する中山公園側門扉など複数あり、現状はいずれも未施錠である。このことが設問⑩「保護者の自由意見」にあるとおり、不審者侵入への心配として表されている。不審者侵入の防止 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを設置すれば懸念が解消されるわけではないため、安全な環境整備は引き続きお願いしたい。 ・防犯面で心配される保護者がいることから具体的な対策を検討願う。門扉の整備（高上

			は、正門他の出入りを施錠し敷地境界の柵も現状以上の高さに嵩上げするなどの改修工事が必要となるが簡単ではない。これまでは不審者侵入への備えとして年1回の訓練を実施してきた。新たな対策として防犯カメラを令和6年2月末設置した。		げ、改修工事)が簡単ではないとのコメントが気になった。継続して要請していく必要があると思う。 ・保護者の意見などを汲んで、防犯カメラの設置をしていただけたということで、とても有難く思う。
地域資源を生かした保育・教育	家庭・地域との連携・協力 ⑥	B	・新型コロナウイルスの5類移行後、活動制限が緩やかになり、地域や家庭との連携場面は徐々に増えてきた。職員は地域の自然や施設等に恵まれた本園の強みを活かした活動をより充実させたいとの思いがあり、その意味で自己評価も厳しくなっていると思われる。	B	
	食育の推進 ②⑨	A	・家庭では「食べない・食べられない」という場合でも、園では「食べる・食べようとする」園児が多く、保護者・職員ともに給食の意義や効果を感じている。 ・保護者は給食への満足度が高いことが背景にある。幼児部の畑での作物栽培やかつお節教室など「食育」に昨年と同様に意欲的に取り組んできたことが評価に反映したと思われる。今後も園児の年齢や特性等を踏まえて、「食べるのが楽しい」と感じる給食指導とバランスのとれた食育を展開したい。	A	・他項目に比較してやや厳しい傾向かと受け止めた。「食べるのが楽しい」全く同感です。先生方の園児への接し方に戸惑いがあるとの事であれば楽しいムード作りが大切ではないかと感じた。
その他			・職員の多くが園の現状を肯定的に受け止めつつもさらなる改善の必要を自覚している。		・幼小中の研修会で、こども園の先生方から生の声を聞かせていただくことができて本当にありがたかった。

令和6年3月7日 学校法人瀬戸谷学園せとやこども園

理事長 平井

